

(様式第1号) (第2条16号関係)

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：(一社)しなの福祉教育総研	所在地：386-0001 長野県上田市上田 180-6
評価実施期間： 令和4年6月1日 から令和4年12月6日 *契約日から評価結果の確定日(通常、評価結果報告会日)まで	
評価調査者(評価調査者養成研修修了者番号を記載) B16025 B18057	

2 福祉サービス事業者情報(2022年 9月現在)

事業所名：JA 長野厚生連富士見高原医療福祉センター (施設名) 特別養護老人ホーム恋月荘	種別：介護老人福祉施設 (介護予防) 短期入所生活介護
代表者氏名：代表理事理事長 洞 和彦 (管理者氏名) 施設長 田口 兼一郎	定員(利用人数)：100名
設置主体：長野県厚生農業協同組合連合会 経営主体：同上	開設(指定)年月日： 2017年 5月 1日
所在地：〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境 8830	
電話番号： 0266-75-5558	FAX 番号： 0266-64-2288
電子メールアドレス：tokuyo.rengetsuso@kou.nn-ja.or.jp	
ホームページアドレス： http://fujimihp.com/	
職員数	常勤職員： 61名 非常勤職員 24名
専門職員	(専門職の名称) 名 生活相談員1名、介護支援専門員1名、 看護師・准看護師5名、介護福祉士42 名、管理栄養士1名、理学療法士1名、 作業療法士1名 医師3名、看護師・准看護師2名
施設・設備 の概要	(居室数) 100室 (設備等) 個浴型浴槽・特殊浴槽・櫓式リフト・走行式 リフト・各種車椅子等

3 理念・基本方針

【基本理念】 富士山のように輝く個を大切に 南アルプスを望みながら共に生き 八ヶ岳の麓、縄文の郷で楽しく集う
【基本方針】 ・その人らしい生き方を大切に安心、安全、安楽な心地よい家を作ります。 ・介護する人、される人、それを支える人達が互いに思いやりを持ち温もりのある暮らしを創ります。 ・豊かな大自然の中で、笑顔に満ち溢れ人が集まるコミュニティーを創ります。

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

全室個室のユニット型施設です。

居住スペースのユニットでは、居室、入浴等ケア全般が個別対応となっております。食事は手作りで温かいお食事を提供します。また、医師の回診や外来受診での体調管理や洗濯、美容院、外出支援なども行います。

南アルプスを望む開放的な地域交流スペースでは喫茶でコーヒーを楽しみながらのひなたぼっこや作業活動（手芸や畑など）、機能訓練、ご家族、地域の皆様との交流、行事など居住空間とは違った雰囲気でお過ごし頂いております。

入居者お一人お一人の生き方を大切に、思いやりを持ち、温もりのある暮らしを送っていただけるようご支援します。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）

初回

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

（1）開設に込められた思いから6年目を迎え、施設の特徴が造られてきています。

○今年度は、施設長はじめ、事務長、看護師長の異動があり、施設運営が大変な中で、第三者評価事業を受審されました。職員自己評価表の収集活動や事前資料集め、管理者・職員ヒアリング等、前向きに取り組んでいただきました。『新設6年目を迎え新たな節目として現状の把握を行い、これから更に恋月荘としての役割や特色を打ち出していきたい！』という思いを感じることができました。計画的に前向きに節目をとらえていくことは組織の向上に影響する大変素晴らしい取り組みだと思えます。

○訪問調査当日、施設の玄関を入ると目の前に、地域交流スペースの円みを帯びた連なる大窓から明るい日差しが差し込んでいます。外の空間と内部の空間が溶け込むようなさわやかさが感じられます。「朝の会」は利用者の方々が思い思いに訪れ、いれたての珈琲や紅茶を楽しみ新聞を読まれたり読書や音楽、趣味活動、目の前に広がる富士見高原の景色を堪能されている方等それぞれが自分のペースでゆったりとされている様子をお聞きしました。地域のボランティアやOB職員の支援もあり充実した活動が行われていましたが、現在はコロナ禍で縮小されていますので早期の再開が望まれます。

（2）施設理念の実践に基づき、介護サービスの質の向上に積極的に取り組まれています。

○利用者の健康維持と楽しみの食事は、地元の食材を活用し季節感を大切に自前の施設で調理して提供されています。温かいものは温かく、冷たいものは冷たくをモットーに配膳方法にも気配りがされています。栄養士から、「ノウハウをもったベテランの職員がいろいろなアイデアを提供してくれます。」とチームワークの良さと人財の重要性が伺われました。

○各委員会活動が積極的に取り組まれています。

恋月荘では①教育委員会の目的：全職員が介護の仕事に同じ意識を持てるように、やりがいを感じられるようにする。②ケア向上委員会の目的：ある程度効率性を伴った、利用者・職員ともに安全で優しい介護業務を迫及し、介護技術の向上を目指します。その他に③リスク委員会④広報委員会⑤行事レク委員会が設置され、それぞれに目的をもって取り組まれています。

○各ユニットの実践研究発表会が毎年事業計画に組み込まれています。各ユニット内での課題や改善・先進的な取り組みを研究・まとめ・発表会を開催しています。職員とチームのレベル向上、また利用者へのサービス向上をめざした実践的な取り組みを今後も期待いたします。

○「優しい介護」は、利用者で職員双方にとって身体的精神的負担の少ない移乗技術を主としたケア技術の追求です。職員が利用者の皆さんを“抱え上げない”腰への負担を軽減し腰痛予防

を行うことにより元気で長く仕事ができることも大きな目的です。関係する全職員が恋月荘の統一したケア技術として標準ケアをマスターできるように研修や個別の計画的指導を取り入れ、施設全体で継続的な取り組みを行っています。他に、走行リフトの取り付けや利用者個々にあった車いすの選択等、個別ケアの推進に取り組んでいます。また、地域の他事業所と介護労働環境改善研究会を開催し、参加している事業所が取り組んでいる研究の発表や推進活動を行い地域の介護力向上に積極的に参画しています。このような組織風土は簡単にできるものではなく、全職員のやる意識とリーダーの牽引力、職員同士の合意形成があって発揮され根付いていくと思います。恋月荘にとってこのような行動力は、他にも影響する大きな強みになっていると思います。

(3) 医療・福祉・在宅の切れ目のないサービス提供が充実しています。

○在宅での看取りを実践されている多くの事例を伺いました。事業所の強みとして JA 長野厚生連富士見高原医療福祉センターを経営主体とした多種多様な事業形態が展開されています。恋月荘では、入所時はじめ定期的に「終末期ケアの意向」を利用者と家族へお聞きしています。また医師により【看取り】と判断された場合も今後どのようにされたいか希望をお聞きする話し合いが行われます。在宅での看取りを希望される場合は、医師、訪問看護、訪問介護、居宅支援事業所、恋月荘の関係職員が素早く連携体制をつくります。本人と家族の心身負担に配慮しながら支援計画に基づき連携が行われます。医療と福祉の両面にわたり社会資源を有している恋月荘は関係が途切れず、在宅での「看取り」が可能になっています。

◇特に改善する必要があると思う点

(1) 中長期ビジョンや事業計画を職員へ周知し、成果・改善の共有をお願いいたします。

○事業統括センターでは、中長期計画が策定されています。それに基づき各事業所で単年度事業計画が策定され取り組まれています。職員の自己評価から事業計画の策定・実施・評価・見直しのサイクルが理解されていない様子と職員の参画意識の実感があまり持てていない様子が伺えました。また、利用者や家族への周知や理解をしていただく工夫が必要であるとの意見が多く伺えました。事業計画を進めるにあたり、管理職や一部の職員が理解しているだけでなく組織の一員として全職員が当事者意識をもって取り組んでいただければ更に改善や成果につながると思います。検討をお願いいたします。

(2) 総合的な人事管理において「期待する職員像等」・「キャリアパス制度」等の職員周知と活用をお願いいたします。

○JA 長野厚生連 介護職員役割基準書と介護福祉士キャリアラダーの資料を見せていただきました。職員自己評価では、理解が不十分や知らないという回答が多くみられました。MBO（目標管理制度）を導入され職員個人の目標管理を管理職が行っていますので、働く意欲付けや育成に向けて、面談の機会を活用いただき周知と理解を図っていかれるようお願いいたします。

(3) 福祉サービスの質の向上に向けた利用者満足度調査の工夫・検討をお願いいたします。

○職員自己評価の中で「利用者満足に関する調査が定期的に行われている」項目が不十分だとした意見が多く伺えました。また、意思決定が困難な利用者への適正な説明や配慮の工夫が必要との意見も多くありました。今後家族への意向調査等も含め定期的に導入される検討をお願いいたします。

(4) 職員自己評価と課題への取り組みや自職場の分析を定期的に行われることを期待いたします。

○今回、第三者評価を受審されるにあたり職員の皆さんには320項目以上の自己評価に取り組んでいただきました。感謝申し上げます。今回行ってみたいの自職場の強みや課題が見えてきたことと思います。今後事業所のサービス向上と職員育成・理念の実践のために定期的に事業所で作成された独自の自己評価シートに基づき課題の見直しや改善に取り組まれ、更に施設が前進されることを期待いたします。

(5) 開設から6年目を迎え日々取り組まれた努力の結果として、多くの地域ボランティアの皆さんや隣の小学校との関係性が確立してきました。今後も事業統括センターと連携し地域包括ケアシステムの地域資源の1つとして施設の役割を明確化し地域へ発信されることを期待いたします。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

- ・ 共通評価項目(別添 1)
- ・ 内容評価項目(別添 2)

8 利用者調査の結果

- ・ 調査対象者が 10 名未満ですので公表いたしません。

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添 4）